

Calligraphy DISCOVERY CORNER

©IR(国際交流員) マシュー・サイバート Wow!

vol.02 Calligraphy

国際交流員マシュー・サイバートと大津町の人々との交流を通して、いろいろな町の魅力を発見していくコーナーです！2回目は、書道パフォーマンスの魅力を体験レポート！さまざまなイベントで活躍する県立翔陽高校 書道部の皆さんに突撃取材しました。



翔陽高校書道部2年生の皆さん

18年前から続く書道パフォーマンスは、部の伝統。繊細かつ力強い演技は、さまざまなイベントで多くの人たちを魅了しています。11月11日(日)の翔陽高校文化祭でも披露される予定です。



1障子紙を張り合わせて1枚の大きな紙を作ります2迫力あるパフォーマンス！3初めての書道に挑戦。初回にしては上出来と先生から褒めていただきました。

ひとこと質問コーナー

書いた後の結果は同じなのに、書き順を守る理由はなんですか？



川副千空さん

書き順は、その文字を書くのに一番書きやすい順番になっています。また、文字には流れがあり、それを守ることで美しい文字が書けるんです。

筆で文字を書いていると不思議と気持ちが落ち着きました。書道は集中力がとても大切なんです！筆への力の入れ方によって線の太さかわるのも面白いんです。みんなで一つの作品を作り上げる、感動的なパフォーマンスに魅了されました！



学校での取り組みなどをご紹介 毎月14日は大津町教育の日

●問い合わせ 役場学校教育課 学務係 ☎096(293)3349

各学校の取り組みを紹介 マイクロレポート



大津東小

大津東小の運動会は地域の皆さんと一緒に作ります。中でも目玉は「大林の牛舞」を再現した、児童たちによる「牛舞」。子どもたちの一生懸命な姿が温かい拍手に包まれていました。



大津南小

大津南小の日本伝統クラブでフラワーボックスアレンジメント教室が行われました。真剣な眼差しで取り組み、素敵な作品ができました。作品はおつかの郷へ一部贈呈されました。

輝く人権

連載「人権シリーズ」

●問い合わせ

役場人権推進課 人権推進係
☎096(293)7920

■第14回南杉水

人権ふれあいフェスティバル
8月4日、第14回南杉水人権ふれあいフェスティバルが同実行委員会主催で開催されました。会場の人権啓発福祉センター前公園には、約500人が集まりました。

子どもみこし

当日は開始直後と終盤に大雨が降ったことでプログラムの変更があり、運営側は大変でした。しかし、広場ではくじ引き、おでん、カレーなどの販売や、各団体による踊りやダンスの披露、最後は抽選会と賑わい、参加された人との交流を深める事ができました。

吉山 義信さん

8月10日、町人権啓発福祉センターにおいて菊池市地域人権教育指導員の吉山義信さんを講師に迎えて「同和教育を通して出会った子どもや親たち」と題して夏期講座を開催しました。吉山さんは小国町などの学校教職員として勤務し、自ら学校の同和教育推進教員になって、学習会を通して子どもたちとの出会いを学びました。また、自分の父親を見て、仕事とは何か、父親としてのあり方などを詳しく話していただきました。参加した人からは「自分を見つめる事の大事さ、人権感覚を磨く事の大事さが心に染み込」などの意見がありました。

15 広報おおづ 2018.10

きらめく男女

●問い合わせ

役場人権推進課 男女共同参画推進係
☎096(293)7920

木下みどりさん

私は、男女共同参画審議会の前身である「懇話会」時代からお世話になり、今期は一般公募で活動しています。その他にも以前から町母子寡婦福祉連合会に在籍し、今年6月までは会長を務めていました。本連合会は、皆さんひとり親家庭の中で忙しく働いているので、会議やイベントなどの参加も「できる人が、できることを、できる時に」をモットーに活動しています。審議会では、男女共同参画啓発事業の一環で、毎年町内の学童児童を対象に夏休み出前講座を実施しています。7月には大津小の学童施設で「おんぶはこりごり」という、家事を母親にだけ押しつけていた家族がみんなで相談し、自分のできることを協力し合う内容の大型絵本の読み聞かせや、啓発DVDの上映とエプロンシアター

エプロンシアター

「お盆の日 先祖に感謝 墓参り」
藤本 亜里朱さん

タリー(仕事編)を行いました。これは、出演するお人形たちやエプロン、物語の台詞、シナリオまですべて手作りしており、自宅・会社・学校(学童)と様々な場面をエプロンで分けているユニークな人形劇です。劇の中で、「学童(子ども)のお迎えは、母親がするのが当たり前」と仕事場の上司が言うシーンがありますが、これを見終ったあとの児童から、「お迎えは行ける人が行けばいい」という感想が聞けて、お話の趣旨が伝わっていることが解りとても嬉しく感じました。これからも人と人が協力し合い、相手のことを思いやる気持ちがあれば、私は「男女共同参画社会」をずっと築くことができると思っています。

第1回大津町男女共同参画川柳コンテスト

14 広報おおづ 2018.10